

江戸時代の年貢に関する文書を読む 解答

史料1 延享元年十月（一七四四） 可納子御年貢割附之事

（根岸家文書 No. 1760）

可納子御年貢割附之事

武蔵國（国）大里郡

甲山村

一 高三百五拾石

此反別四拾町壹反七畝九分

内 田貳拾四町壹畝貳分

畑拾六町壹反六畝七分

此訳

田貳拾四町壹畝貳分

内 貳反六畝四分

三畝拾五分

上畑貳町九反拾分

内壹畝分

前々堀代引

中畑三町三反九畝貳分

下畑八町九反四畝貳分

屋鋪九反壹畝拾三步

取 米百石壹斗三升貳合

永貳拾壹貫九百九拾四文

一 高三拾九石七斗壹升貳合

丑改

同所新田

此反別拾三町壹反九畝分

内 田壹反五畝廿四分

畑拾三町三畝六分

此訳

下田九畝廿七分

見付田五畝廿七分

下畑四町四反四畝拾八分

下ノ下畑三町七反六畝廿四分

見付畑壹町壹反五畝六分

林畑三町六反六畝拾八分

取 米貳斗八升七合

永五貫拾壹文

外

一 永百四拾八文四分

御林下草錢

一 永五百六文四分

百姓山錢

- 一 永七百七拾七文 糠藁代
- 一 米七斗七升九合 六尺給
- 一 米貳斗三升四合 御傳(伝)馬宿入用
- 一 永九百七拾四文三分 御藏前入用

割印) 納合 米百壹石四斗三升貳合

永貳拾九貫[®]四百拾壹文壹分

右者午方卯迄拾ヶ年定免之内、當(当)子御取箇書面之通候間、村中大小百姓入作之者迄立會(会)無高下割合之来ル極月廿日以前、急度可皆濟者也

延享元年子十月 菅沼久次郎^印

右村
名主
惣百姓

史料2 享保九年(一七二四) 覚(卯御年貢皆濟小手形)

(根岸家文書 No. 1880)

覚

高三百五拾石

- 一 米貳石八斗三升七合 本途米納
- 一 永貳拾貫三百五拾壹文 本途見取
- 一 永貳拾文 浮役共ニ金納
- 一 米八升壹合 歩永
- 一 永六百拾壹文 口米
- 割印) 納合 米貳石九斗壹升八合 口永
- 永貳拾貫九百八拾貳文 但本石

右者去卯御年貢米永上納就皆濟
小手形引替遣之者也

享保九年辰四月 松平九郎左衛門^印

武州大里郡
甲山村

